

【草花の部屋】

シネラリア(キク科ペリカルリス属 *Pericallis* × *hybrida*)

和名：フキザクラ(蔦櫻) **別名**：サイネリア **英名**：Cineraria

キク目 一年草 **原産地**：北アフリカ、カナリー諸島、マデイラ諸島

花言葉：快活、愉快、喜び **花の色**：赤、青、紫、白、ピンク、薄黄他



← ↓ 写真-1、2 シネラリア

撮影日：2025年3月22日

撮影場所：長浜市(滋賀県)内にて

撮影者：M さん



→ 写真-3 シネラリア

撮影日：2025年3月22日

撮影場所：長浜市(滋賀県)内にて

撮影者：M さん

長浜御坊表参道沿いのお店の中で見かけました。良く見かける花ですが、名前が浮かばず・・・お店の方に尋ねると「サイネリアです」と教えてくれました。

花屋ではかつて「シネラリア」と呼ばれていたキク科ペリカルリス属の園芸品種群を指していましたが、最近は「死ねラリア」と連想する人が多いので「サイネリア」の流通名で販売されているそうです。

和名の「フキザクラ = 蔦櫻」は松村博士が1896年に付られたそうで、葉がフキの葉に似た形でサクラのように株を覆い尽くすように咲く様から名付けられたとか・・・。



キク科ペリカルリス属の植物は、14 種が自生し、その中でも園芸で親しまれている品種は 18 世紀にイギリスで作出された交雑種が元となっているそうです。さらに他の種を掛け合わせて現在の園芸品種群ができたそうで、園芸品種成立の交配式は不明だそうです。シネラリアは、本来は多年草ですが、高温多湿に弱いため、日本では一年草として扱われています。

冬に鉢ものや苗ものとして流通し、カラーバリエーションがとても豊富で、一重咲きのほか蛇の目咲きなど咲き方も多様です。半球状にこんもりと育つ株は、冬から春にかけてたくさんの花が開花し、ひとつひとつの花持ちが良いため、切り花としての流通も増えているそうです。暑さに弱い反面、徐々に慣らせば最低温度 1℃程度まで耐えるそうで、真冬に開花株を購入した場合は、最低温度 5℃以上を保つと良いそうです。

< ちょっと一言 >

＊松村 任三(まつむら じんぞう 1856 年 2 月 14 日- 1928 年 5 月 4 日)

- ・植物学者。東京帝国大学理学部 植物学教室教授、附属小石川植物園の初代園長。
- ・多くの植物標本を採取しソメイヨシノやワサビなど 150 種以上の植物に学名を付け、それまでの本草学と近代の植物学の橋渡しをした。また、植物の分類のための植物解剖(形態)学という新しい学問を広めた。
- ・門下生に牧野富太郎がいる。